

連載

未来への扉⑮



子ども・子育て世代向けのお薦めの本を、図書館司書が紹介します。  
問 西川図書館 (☎0256-88-0001)



12か月が楽しい！ 子どもの季節あそび

HoiClue 編著 出版社：朝日新聞出版  
発行年：2022年  
市内図書館所蔵数：2冊

概要

1月から12月までの、1年間の行事や季節に合わせた、楽しい遊びのアイデア本です。例えば、牛乳パックで作るこま遊びといった身近にある素材を使った遊びや草花や木の実を使った自然遊びなど、室内での遊びと外遊びが合わせて50個以上、写真付きで紹介されています。遊びの種類は「工作」「自然」「料理」「実験」「その他」があり、子どもが好きなこと・やってみたいことなどに合わせて選ぶことができます。

おすすめポイント

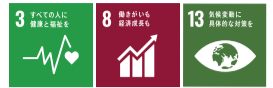
「子どもをどうやって遊ばせたらいいんだろう？」「どんな遊びが楽しいかな？」など、子どもとの遊びのアイデアが欲しい人、子どもとの過ごし方に悩んでいる人にお薦めする、とっておきの本です。遊びは子どもの自由な発想や行動に合わせてどんどんアレンジしてOK！楽しく遊ぶ体験を通して、さまざまな驚きや面白さを感じられます。また、大人には子ども時代の楽しかった遊びを思い出してもらえたらうれしいです。

連載

あなたにもできる！ SDGs 5



問 政策調整課 (☎025-226-2066)



宅配便は持続可能？

私たちが日頃から利用している宅配便は、インターネット通販などの普及による取扱量の増加に対して配達スタッフが不足し、事業の持続性が危ぶまれています。

そこで、再配達を極力減らせるよう、直接受け渡しをしない「置き配」や「宅配ボックス」の普及が進んでいます。これらを利用することは、スムーズに荷物が受け取れるだけでなく、社会に対しても良い影響をもたらします。



いつまでも贈り物が届く新潟に



再配達を減らすことで、配達スタッフの長時間労働の防止につながるほか、配送車両から排出される温室効果ガスを削減することができます。また、再配達にかかる時間やコストが減るため、配送業者の収益が改善し、事業の継続が期待できます。

私たちの生活は物流によって支えられていますが、物流業は人に頼る部分が多く、人口減少時代においては継続が困難な業種の一つです。

そのため、利用する側も、配送日時にゆとりを持たせたり、再配達を減らしたりするなど、物流に関わる皆さんの負担に配慮し、いつまでも贈り物が届く新潟にしませんか。

暮らし

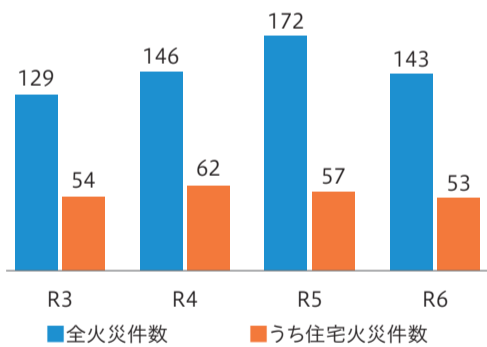


令和6年の火災件数は143件  
火の用心で安心なまちへ

令和6年の新潟市の火災件数は前年より29件減少し、143件でした。冬季は暖房器具を使用する機会が増えるため、火災が発生しやすくなります。ストーブの取り扱いに注意しましょう。

問 消防局予防課 (☎025-288-3230)

新潟市の火災件数



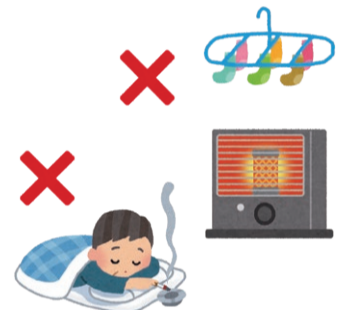
出火原因ワースト5

- 1位 電気関係 (電気機器・配線など)
- 2位 たばこ
- 3位 放火(疑い含む)
- 4位 こんろ
- 5位 ストーブ

火災から命を守る10のポイント

4つの習慣

- ①寝たばこは絶対にしない、させない
- ②ストーブの周りに燃えやすい物を置かない
- ③こんろを使うときは火のそばを離れない
- ④コンセントのほこりを清掃し、使わないプラグを抜く



6つの対策

- ①ストーブやこんろは安全装置の付いたものを使う
- ②住宅用火災警報器は定期的に点検し、10年を目安に交換する
- ③寝具や衣類、カーテンなどは防災品を使う
- ④家庭用消火器などを常備し、使い方を確認しておく
- ⑤避難経路や避難方法などを確認しておく
- ⑥地域の防災訓練などに参加する



電気関係の出火に気を付けよう

- ・たこ足配線をしない
- ・電気コードを束ねない
- ・傷んだコードを使わない
- ・電気コードの上に物を置かない
- ・リチウムイオン電池は、落下などの強い衝撃を与えない

リチウムイオン電池は、スマートフォンやモバイルバッテリー、電子たばこなどに使用されています。充電器は専用のものを使うなど、適切に使用しましょう。



消防局マスコットキャラクター「消太くん」

消防職員が住宅用火災警報器を取り付け

対 高齢者や障がい者のみの世帯で、自身で取り付けが難しく、家族や近隣の人などに相談できない人  
※火災警報器本体は、事前に購入しておいてください

問 各消防署



「にいがた雪の日辞典」は市ホームページに掲載しています

